



2024年7月8日

各 位

会 社 名 株式会社UNIVA・Oakホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長グループCEO 稲葉 秀二
(コード：3113 東証スタンダード)
問合せ先 取締役グループCFO 作田 陽介
(TEL. 03-6682-9884)

F M軽井沢による軽井沢観光協会と株式会社オルツの生成AIを活用した観光情報提供サービスの 実証実験の企画/コーディネートに関するお知らせ

世界的に有名な保養リゾート地・軽井沢においてコミュニティFM事業を展開する当社連結子会社・軽井沢エフエム放送株式会社（本社：長野県北佐久郡軽井沢町、以下「FM軽井沢」といいます。）は、この度、軽井沢観光協会と株式会社オルツと共同で、株式会社オルツが開発した大規模言語モデルである「LHTM-2」を基盤としたノーコード生成AIプラットフォーム「altBRAIN（オルツブレイン）」（<https://alt.ai/news/news-2235/>）（以下「altBRAIN」といいます。）を活用した観光情報提供サービス【軽井沢AIナビ】の実証実験（以下「本実証実験」といいます。）の企画及びコーディネートを行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本実証実験に至った経緯及びその目的

FM軽井沢は、プロモーション領域などにおいて協力関係にあるオルツ社のサービス、altBRAINのより広い活用方法を検討した結果、altBRAINによる観光情報サービスの提供が観光客に対する利便性の向上にとどまらず、地域の文化や歴史を交えながら紹介し、地域の魅力や誇りを高めながら観光資源や観光施設などを紹介することにより、観光客に対し軽井沢の持つ魅力のより一層の訴求につながり、観光客の増加や地域への訪問が促進されるものと考えました。これを踏まえ、この度、FM軽井沢は軽井沢観光協会に対し、altBRAINの生成AIによる軽井沢観光情報の提供サービスの試験導入を企画・提案するに至ったものです。

<株式会社オルツについて>

2014年11月に設立された株式会社オルツは、P.A.I.®（パーソナル人工知能）、AIクローンをつくり出すことによって「人の非生産的労働からの解放を目指す」ベンチャー企業です。生成AI、独自開発LLM及び音声認識技術をはじめとするAI要素技術を豊富に保有し、それらを活用した多くのAI Productsを開発・提供しており、2024年4月までの累計調達額は約100億円超に達しております。

2. 本実証実験の内容

今回の実証実験では、生成AI技術を活用し、観光客に対してリアルタイムでパーソナライズされた観光情報を提供するシステムを導入いたしました。

その主な取り組み内容は以下のとおりです。

(1) 生成 AI によるリアルタイム観光情報の提供

観光スポット、飲食店、イベント情報など、観光客が必要とする情報を 24 時間リアルタイムで提供するシステムを導入いたしました。

(2) パーソナライズされた観光体験

生成 AI 技術を用い観光客の好みに基づいた情報を提供し、各観光客の興味や関心、質問に応じて、おすすめ観光ルートやアクティビティを提案いたします。

(3) 複数言語対応システム

日本語だけでなく、英語にも対応し、複数の言語で情報を提供することにより外国人観光客にも対応いたします。

(4) 利用者フィードバックの収集と分析

実証実験期間中に観光客からのフィードバックを収集・分析し、サービスの改善に活用いたします。

3. FM軽井沢の事業展開と今後の見通し

FM軽井沢は、地域に根ざしたメディアとして、放送事業にとどまらず、様々な形で地域の魅力を発信し続けることを目的として、軽井沢と首都圏の双方の企業等の連携を通じて新しいプロジェクトやイベント、プロモーションの企画／実施を推進し、こうした放送事業外の事業を通じて事業収益の裾野の拡充を進めております。

今回の本実証実験は、生成 AI による観光産業や行政関連サービスへの貢献を図るものであり、FM軽井沢がこの企画/コーディネートに携わることは、生成 AI による観光産業や行政関連サービスへの貢献を通じて、その事業性を高めることにつながるものと考えております。

4. 今後の見通し

本件による連結業績への影響については軽微と見込んでおります。

当社は、軽井沢唯一の放送メディアとして、軽井沢にとどまらず日本中の誰もが楽しめるコンテンツを配信し地域と社会に貢献する FM軽井沢を、UNIVA・Oakグループ内のメディア事業を担うコア会社と位置づけ、引き続きその企業価値増大に向けて強力で支援してまいります。

以 上